

2023年度第3四半期決算説明会

「Yokohama Transformation2023」の進捗と年間見通し修正について

2023年11月10日
横浜ゴム株式会社

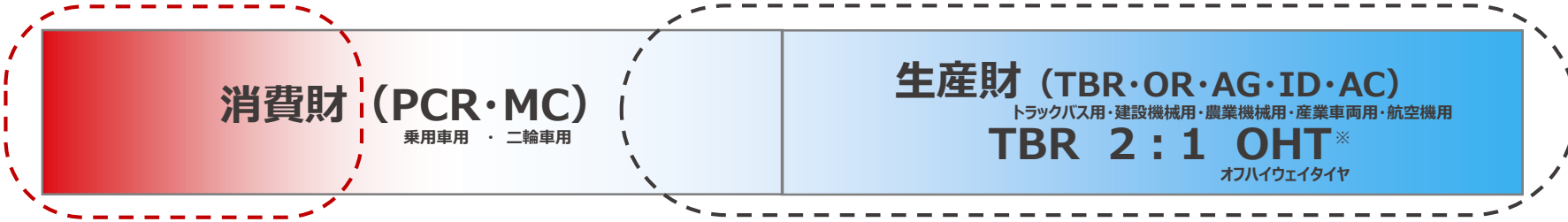


YOKOHAMA Transformation 2023

深化×探索 による 変革

タイヤ事業戦略：タイヤ事業に与えるCASE/MaaSの影響

タイヤ世界市場



※OHT (オフハイウェイタイヤ)
生産財タイヤの内トラックバス用を除いた農業機械・産業車両・建築機械・林業機械などに装着されるタイヤの総称

当社



消費財タイヤの『生産財化』

B to B ~~(to C)~~

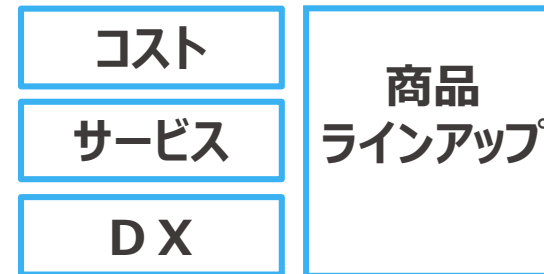
深化

探索

高付加価値品比率最大化



市場変化の取り込み



2023年度第3四半期累計実績



単位 (億円)	2023年 3Q累計実績	2022年 3Q累計実績	前年比 増減	前年比 増減率
売上収益	6,925	6,158	+767	+12.5%
事業利益	492	461	+31	+6.7%
事業利益率	7.1%	7.5%	▲0.4%	-
営業利益	524	453	+70	+15.5%
当期利益	446	333	+113	+33.9%
D/Eレシオ	0.71倍	0.39倍 (2022年12月末時点)	+0.32倍 (2022年12月末比)	-

ADVAN・GEOLANDARの新車装着



トヨタ自動車 新型SUV「グランドハイランダー」
「GEOLANDAR X-CV」装着



北米SUBARU 新型「Crosstrek Wilderness」
「GEOLANDAR A/T G015」装着

補修市場のリターン販売強化

■ 2023年「泥試合」



GEOLANDAR CV45

■ EV専用タイヤ発売



ADVAN Sport EV

モータースポーツ活動



SUPER GT GT300クラス 第5戦ワンツーフイニッシュ・第8戦優勝



ニルブルクリンク耐久シリーズ 第6戦・第7戦・第8戦総合優勝



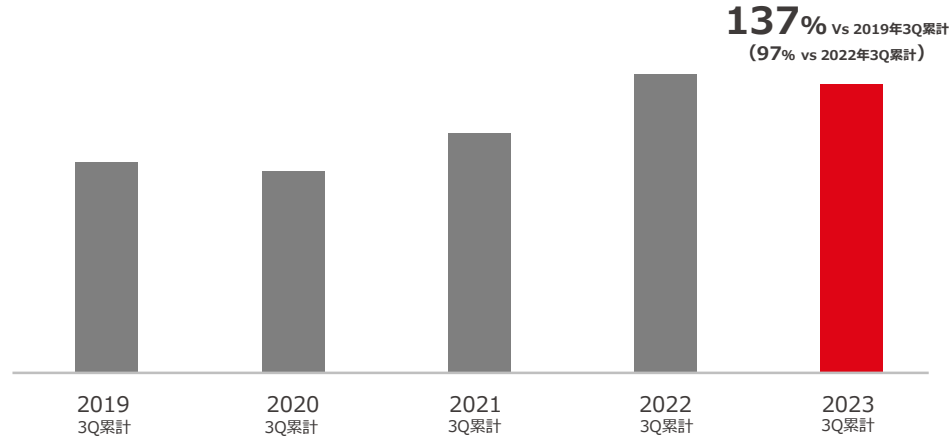
アジアクロスカントリーラリー2年連続総合優勝 1位～3位独占



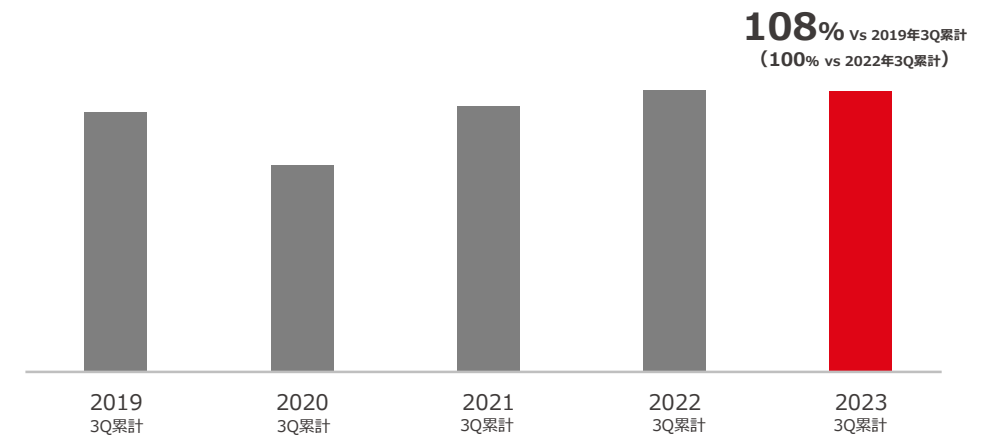
YX2023進捗：タイヤ消費財商品別販売本数累計推移

WINTER・18インチ以上販売好調

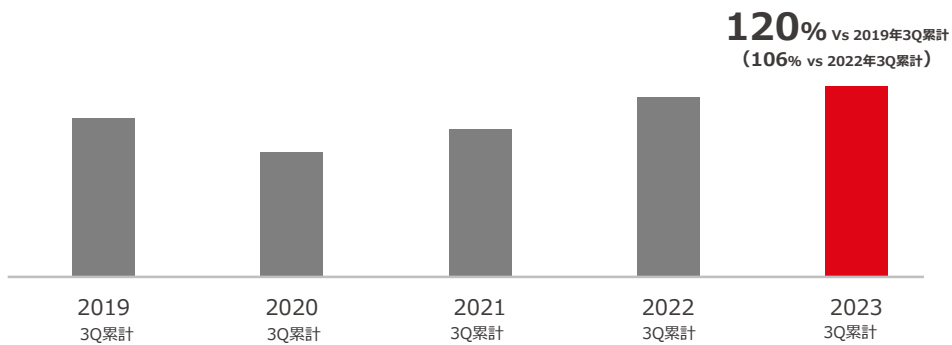
ADVAN



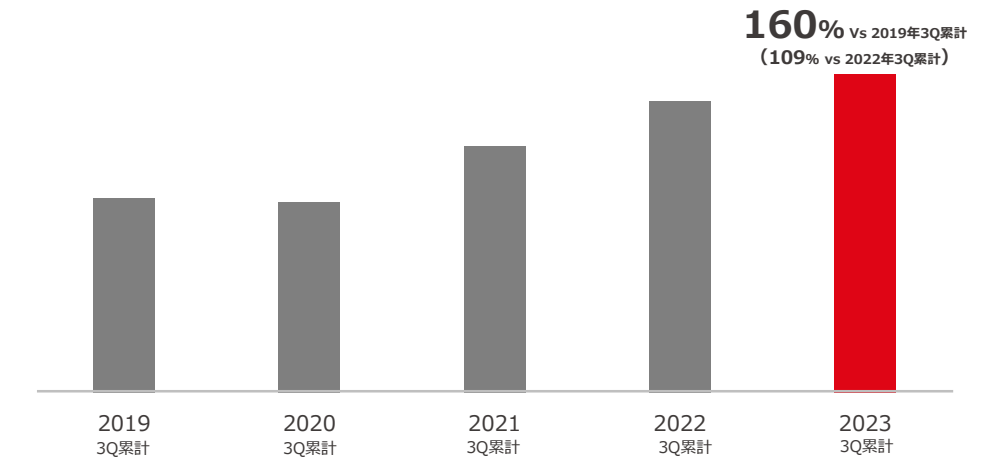
GEOLANDAR



WINTER



18インチ以上



リソース集中による強化・拡大

ホース配管
成長ドライバー
生産能力増強
拠点再編

工業資材
安定収益化
シェア最大化

事業再構築

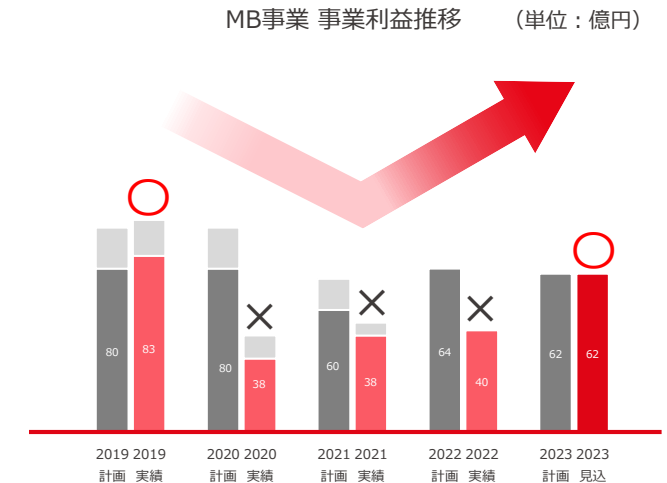
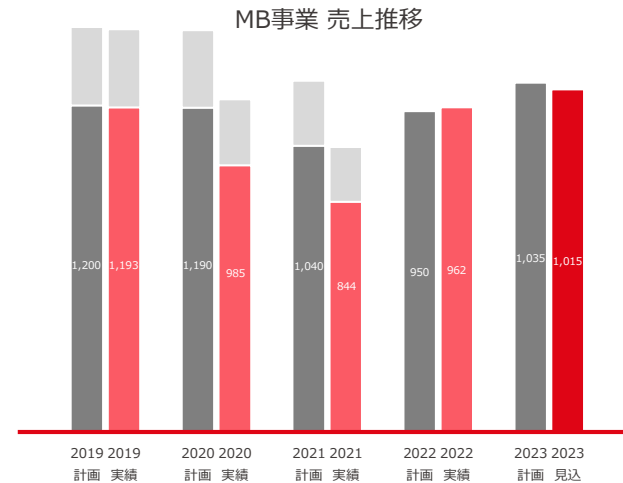
ハマタイト

2021年11月
スイス・Sikaグループへ
事業譲渡完了

航空部品

2022年3月
工業資材事業に統合

利益最大化のための「100日プラン」の効果刈り取り 事業運営の見直し／収益改善の継続推進



※2019年、2020年、2021年は事業譲渡したハマタイト事業の実績を含む。■はハマタイト単体。

■ホース配管

・北米自動車ホース配管生産再編完了／量産開始

■工業資材

・コンベヤベルト国内販売強化／商品ラインナップ拡充予定
・ソリッドフェンダーの国内発売開始



V型ソリッドフェンダー

E：環境

環境についての認証・認定 FSC CoC認証、自然共生サイト(環境省)

・タイ天然ゴム加工会社、FSC CoC認証を取得

FSC認証：森林の生物多様性を守り、地域社会や先住民族、労働者の権利を守りながら適切に生産された製品を消費者に届けるため仕組み

・茨城工場が環境省「自然共生サイト」に認定「30by30」の達成に貢献



G：ガバナンス

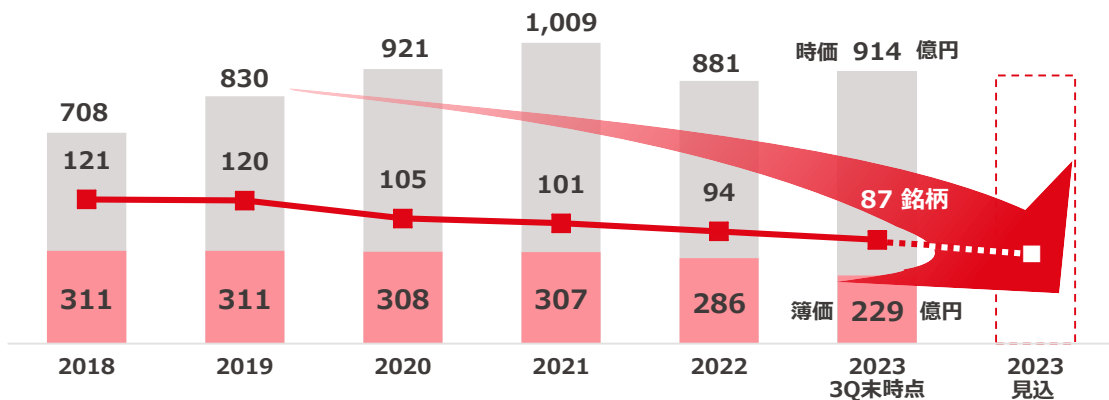
政策保有株式縮減を継続

2023年3Q時点 2022年末比
政策保有株式銘柄数増減 簿価増減

▲7 銘柄 ▲57 億円

2023年9月末時点 87 銘柄 簿価 229 億円

2022年末時点 94 銘柄 簿価 286 億円



情報開示

「統合報告書2023」を発行 機関投資家の意見を踏まえ内容を拡充



- ・当社の強みを起点とした価値創造プロセス・ストーリー
- ・財務戦略・アセットアロケーションの考え方
- ・サステナビリティ
(人権、人的資本、ダイバーシティ&インクルージョン、生物多様性保全)

サステナビリティに関する第三者評価
ESG投資指数の構成銘柄に選定



18年連続



FTSE Blossom
Japan

6年連続



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2年連続

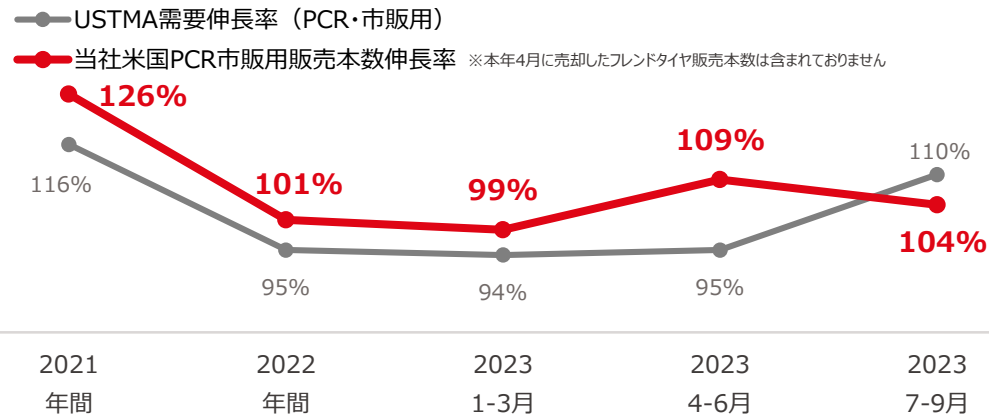
足元の状況：タイヤ事業（消費財・TBR）



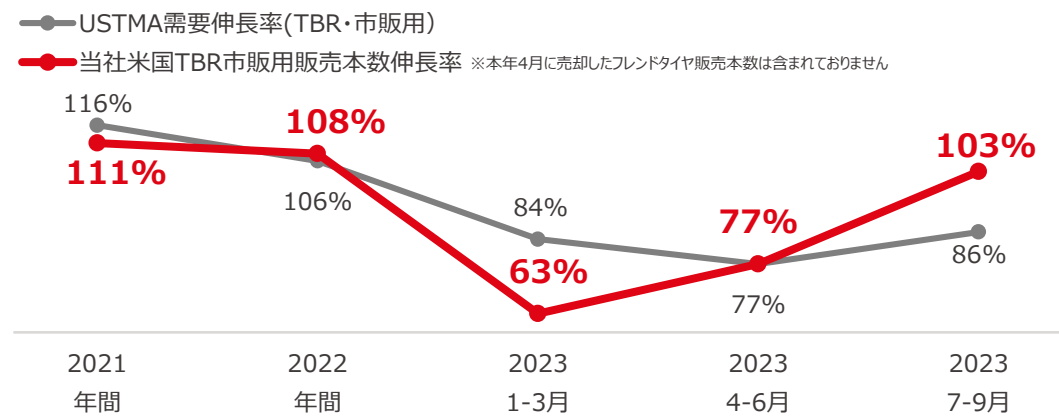
北米市場販売動向

・第3四半期は前年を上回る販売本数伸長

米国PCR市販用タイヤ販売実績推移（本数／対前年比）

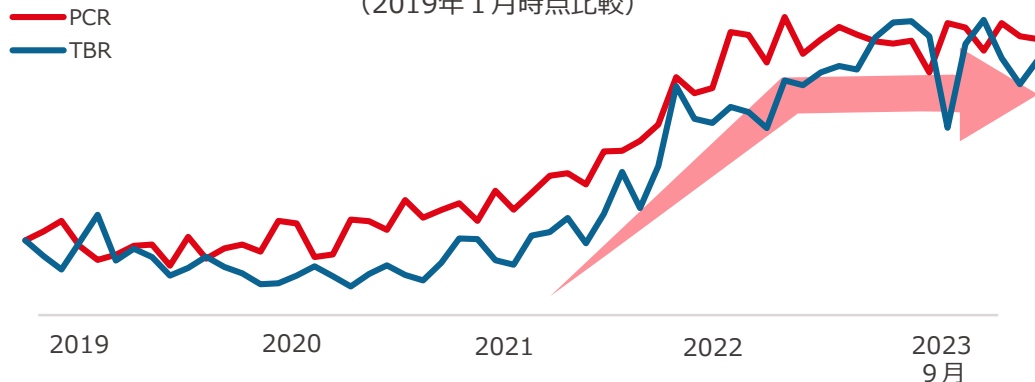


米国TBR市販用タイヤ販売実績対前年推移（本数／対前年比）



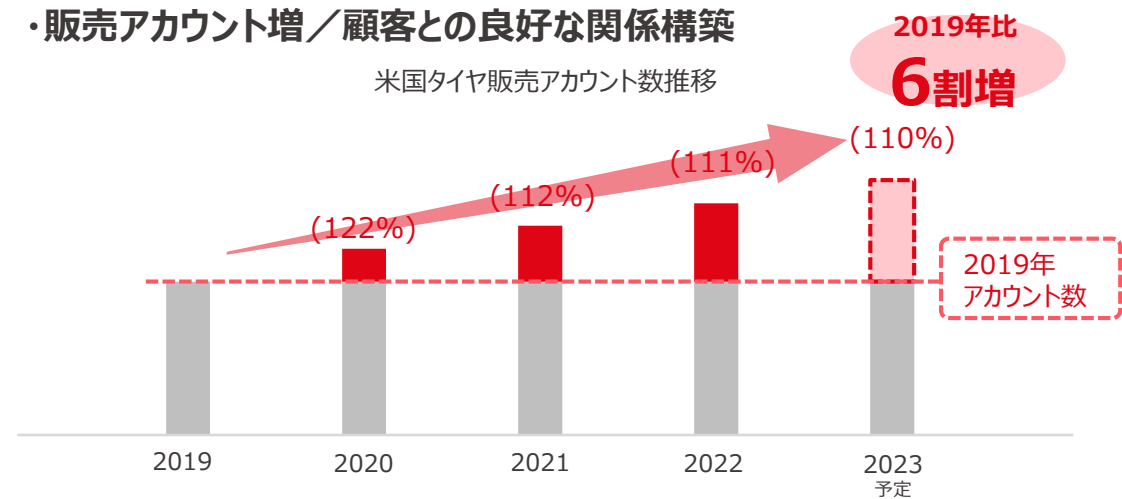
・適切な値上げを実施／価格を維持

当社米国市場販売価格推移（2019年1月時点比較） ※卸売価格ベース



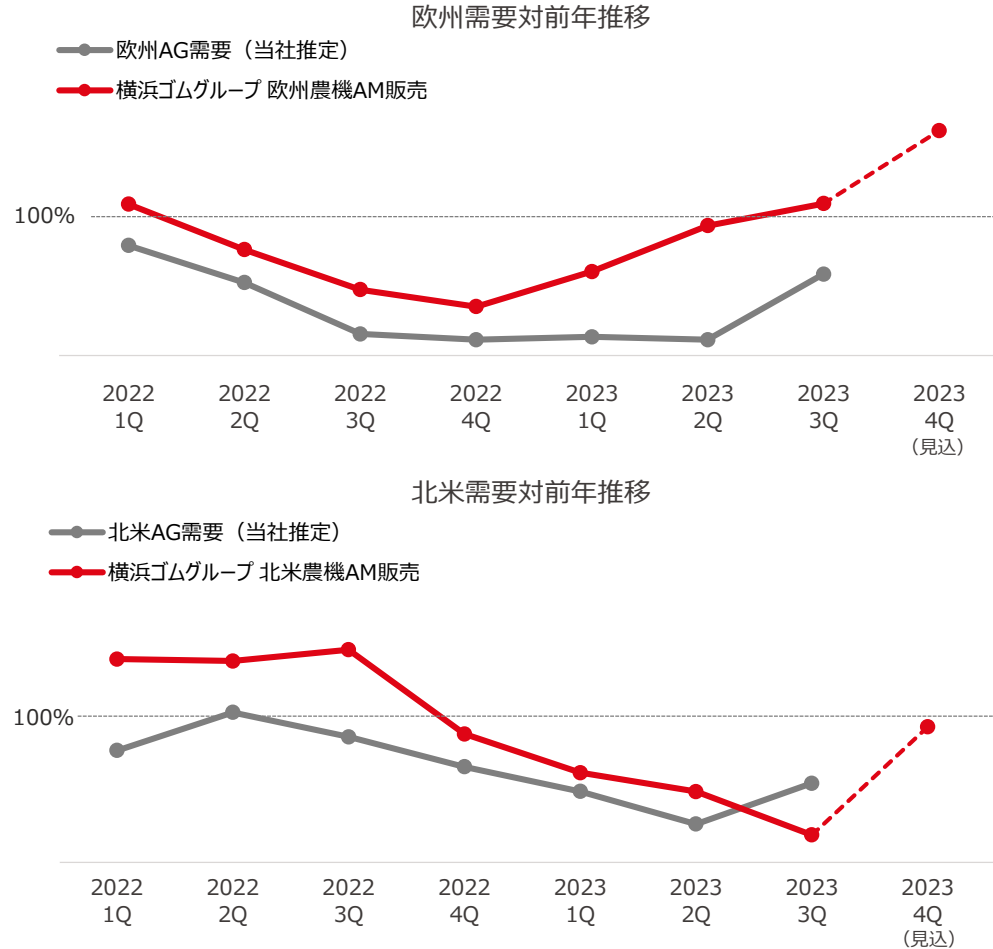
・販売アカウント増／顧客との良好な関係構築

米国タイヤ販売アカウント数推移

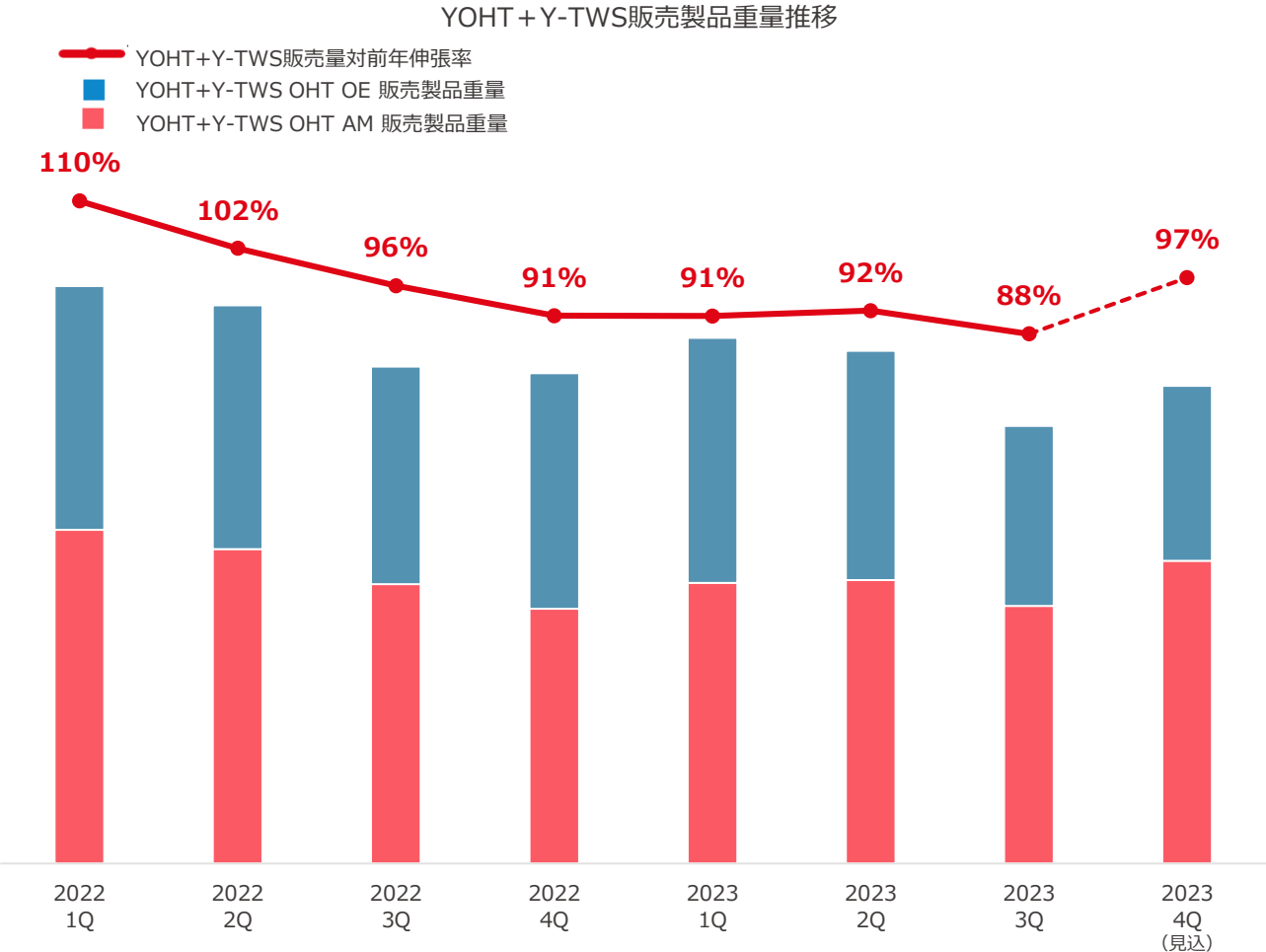


OHT事業販売動向

■ 農業機械用タイヤ需要動向／需要は回復基調



■ 当社販売推移／第3四半期に底打ち



2023年度業績修正



単位（億円）	2023年見込	前回公表 2023年5月	増減	増減率	YX2023 2023年目標
売上収益	10,000	10,000	-	-	7,000
事業利益	900	845	+55	+6.5%	700
事業利益率	9.0%	8.5%	+0.5%	-	10.0%
営業利益	925	870	+55	+6.3%	-
当期利益	625	570	+55	+9.6%	-
D/Eレシオ	0.72倍	0.73倍	▲0.01 倍	-	0.4倍 (2023年目標)
ROE	9.4%	9.0%	+0.4%	-	10% (2023年目標)

2023年8月10日 Post YX2023骨子の策定 (社内共有)

2023年11月6日・7日 事業戦略の議論・共有化

~2024年1月 「戦略」・「計画」を集成

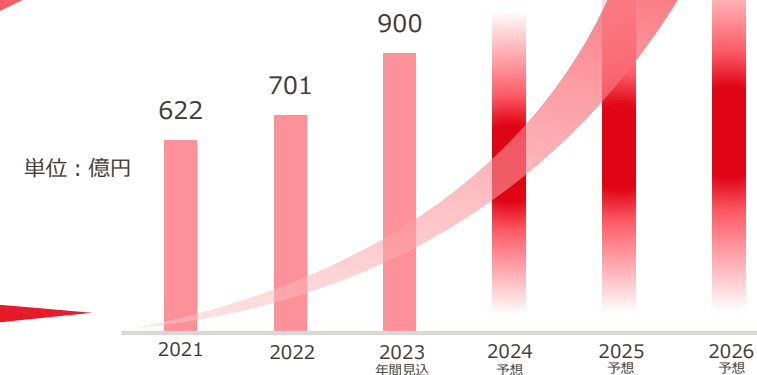
2024年2月公表



YOKOHAMA Transformation 2023

Post

深化×探索による変革の『総仕上げ』



単位：億円

YX2023

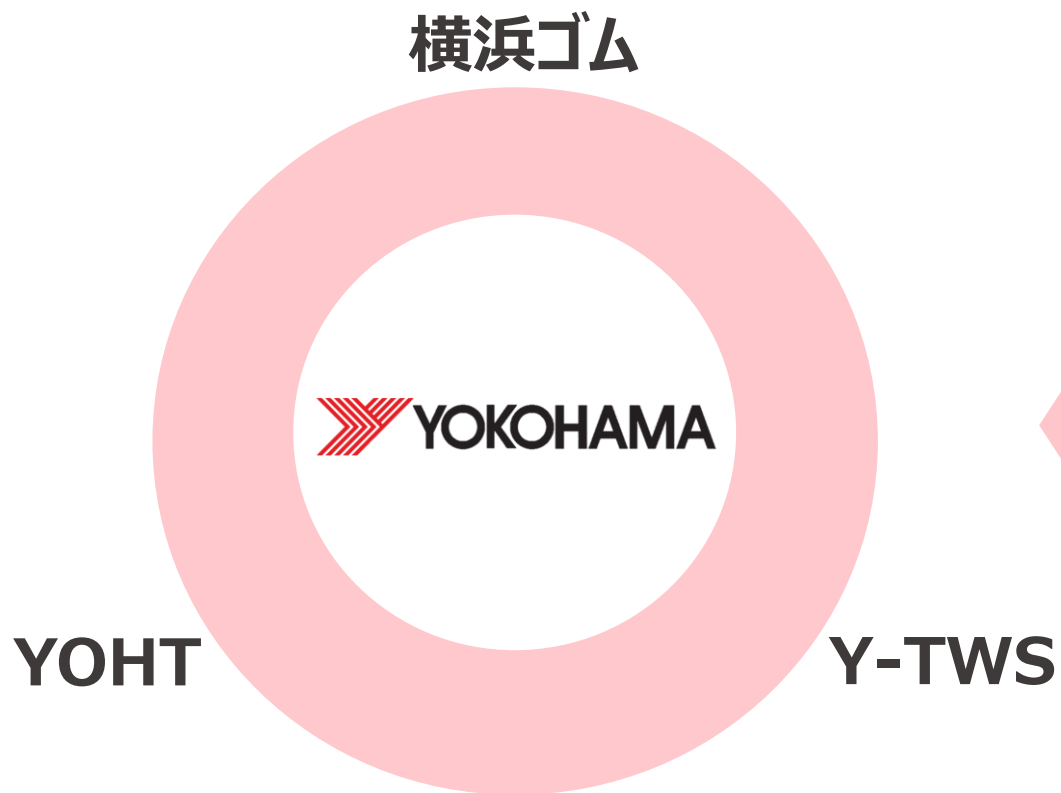
Post YX2023

財務計画／事業利益推移

TWS買収のシナジー効果

OHT事業で高い利益率の維持と更なる成長を目指す

横浜ゴムグループ全体でシナジーを創出



\$50Million/年 以上

原材料



生産体制の最適化



想定できるシナジーの機会

バックオフィス・IT



物流





YOKOHAMA Transformation 2023